

2024年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	日本国憲法		教員氏名	松田 壯吾	
科目ナンバー	I-1-4				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	幼免必修		実務経験	弁護士	45年
テーマ	憲法に親しむ				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	PowerPoint(講義プリント)、テキストをベースとして、日本国憲法、憲法問題の講義				
授業の到達目標	日本国憲法の基本的理念と体系を理解することを通じて基本的人権を擁護し、愛と奉仕を実践する幼児教育の担い手になると共に、社会に通用する教養を身につける				
テキスト	「憲法概説」(財)司法協会 ※憲法条文のプリント、PowerPointプリントを配布する				
参考書					
ポートフォリオ					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	40	実施する		
	授業内課題 参加度 出席態度等	60	リアクションペーパーの内容		
	その他				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	憲法典について 日本国憲法の制定、旧憲法と日本国憲法、最高法規	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第2回	テーマ 内容	法の下での平等、人権の意義、人権通則 法の下での平等の裁判事例、人権の享有主体、人権の到達範囲、人権の制約原理	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第3回	テーマ 内容	人身の自由 奴隷的拘束からの自由、移動の自由、法定手続の保障、刑事手続の保障、死刑制度	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第4回	テーマ 内容	経済的権利 職業選択の自由、財産権の保障、私有財産制	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第5回	テーマ 内容	社会権、子どもの権利 生存権、教育権、労働権、労働基準法、子どもの権利条約	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第6回	テーマ 内容	精神的自由権(1) 思想・良心の自由、表現の自由、信教の自由、学問の自由	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第7回	テーマ 内容	精神的自由権(2)、新しい人権 集会結社の自由、家族形成の自由、幸福追求権、新しい人権の根拠、具体例	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第8回	テーマ 内容	参政権、受益権 選挙制度、裁判を受ける権利 国家賠償・刑事補償請求権、裁判員裁判	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第9回	テーマ 内容	立法と行政 国会と内閣、議院内閣制、国会の権限、内閣の権限、国会と内閣の内部組織	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分

第10回	テーマ 内容	司法 意義と限界、司法権の独立、違憲審査制	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第11回	テーマ 内容	民主主義、天皇制、近代憲法と現代憲法 国民主権、有権者と国会、政党、天皇制 国家観と憲法典	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第12回	テーマ 内容	平和主義、憲法改正 第9条、前文、日本国憲法が放棄した戦争、憲法改正手続	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分
第13回	テーマ 内容	地方自治 原理、組織、地方公共団体の権能	
	授業外学習	講義プリントの下調べ	210分

課題に対するフィードバックの方法

レポート課題(リアクションペーパー)については、添削したうえで返却し、より深い理解のための一助とする。

2024年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	日本国憲法		教員氏名	曾我幸男	
科目ナンバー	I-1-4				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	幼免必修		実務経験	弁護士	27年
テーマ	日本国憲法の基本的な問題について、具体的な事例を踏まえながら立体的に理解する				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	東京弁護士会に所属する弁護士。民事事件のほか、家事事件、刑事事件など幅広い事件を担当。毎回学ぶべきテーマを設定し、実務経験も交えながら、具体的な事例に基づく講義を行うとともに、事例・問題点等について学生と意見交換をしながら、憲法に関する基本的な問題の理解を深めていく。講義形式を基本としつつ、学生にも積極的に議論に参加してもらい、可能な限り双方向的な授業を目指す。				
授業の到達目標	①知識・理解 基本的人権の内容・重要性、民主政治の仕組みについて説明することができる。				
	②技能 社会で起きた出来事から、憲法上の問題点を抽出し、憲法の観点から考察できる。				
	③態度 各種事例に関する議論について、積極的に参加して討議できる。				
テキスト	目で見える憲法【第5版】 初宿正典ほか 有斐閣				
参考書	なし				
ポートフォリオ	0				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他: 0				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	0		
	授業内課題 参加度 出席態度等	70	達成度確認テスト50% 授業態度と意欲20%		
	その他	30	授業外レポート30%		

授業概要と課題		
第1回	テーマ 内容	憲法の基本、立憲主義、憲法の基本三原則、子ども・外国人の人権を学ぶ
	授業外学習	(予習)テキストPART I、II 1 権利の主体を読み、憲法の基本原理と人権について下調べすること。(復習)立憲主義の意味を理解すること。子ども及び外国人の人権がどこまで認められるのか、具体例にしたがって検討すること。 210分
第2回	テーマ 内容	幸福追求権、プライバシー権、自己決定権について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 2を読み、プライバシー権の内容について下調べてくること。(復習)授業で扱ったプライバシーや自己決定権に関する各事例に関するディスカッションを踏まえて自分の考えをまとめる。 210分
第3回	テーマ 内容	法の下での平等について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 3を読み、平等原則違反が問題になったものとしてどのような事例があるか下調べてしておくこと。(復習)授業で提示されたレポート課題に取り組む。 210分
第4回	テーマ 内容	思想良心の自由、信教の自由について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 4①②を読み、信教の自由とはどのようなものなのか、下調べてくること。(復習)身近なところで信教の自由や政教分離原則違反が問題となる事例がないか調べる。 210分
第5回	テーマ 内容	表現の自由について学ぶ(その1)
	授業外指示	(予習)テキストPART II 4③を読み、表現の自由とはどういうものか、なぜ重要とされているのか、下調べてくること。(復習)表現の自由の重要性と、民主政治との関係について掘り下げて考える。 210分
第6回	テーマ 内容	表現の自由について学ぶ(その2)、学問の自由、経済的自由について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 4④、5を読み、経済的自由とはどういうものか下調べてくること。(復習)職業選択の自由と財産権の保障について、具体的な事例を踏まえて掘り下げて考えること。 210分
第7回	テーマ 内容	社会権(生存権、労働基本権)について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 8を読み、なぜ社会権が生まれたのか、なぜ必要なのかを下調べてくること。(復習)労働基本権、生存権について、掘り下げて考える。労働基準法により労働条件がどのように定められることになっているか具体的に調べる。 210分
第8回	テーマ 内容	人身の自由、適正手続の保障(罪刑法定主義等)について学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 6、7を読み、罪刑法定主義について下調べをしてくること。(復習)授業で扱った事例について、自分なりに考えて、意見をまとめる。 210分
第9回	テーマ 内容	参政権、国務請求権、国民の義務、三権分立、行政権と議院内閣制を学ぶ
	授業外指示	(予習)テキストPART II 9、10、11を読み、参政権の内容を下調べてくること。(復習)テキストPART III 2を読み、議院内閣制の趣旨や解散の意味を掘り下げて考える。 210分

第10回	テーマ 内容	立法権と国会の制度を学ぶ	
	授業外指示	(予習)テキストPARTⅢ1を読み、議員の地位、及び法律が成立する過程を下調べしてくること。 (復習)衆議院の優越がどのような場面で認められているか、なぜ衆議院が優越するのか、掘り下げて考える。	210分
第11回	テーマ 内容	司法権の意義と裁判のしくみ、違憲審査権について学ぶ	
	授業外指示	(予習)テキストPARTⅢ3を読み、裁判所の種類、裁判のしくみを下調べしてくること。 (復習)裁判官の独立、司法権の独立の意味、司法審査権について掘り下げて考える。	210分
第12回	テーマ 内容	天皇制、財政制度、地方自治、憲法改正とその限界について学ぶ	
	授業外指示	(予習)テキストPARTⅣ4～7を読み、天皇の地位、天皇が行うことを下調べしてくること。 (復習)地方自治の本旨、憲法改正とその限界などについて、掘り下げて考えること。	210分
第13回	テーマ 内容	具体的事例に基づき、憲法を横断的に理解する	
	授業外指示	(予習)これまでの配布資料を再確認する。 (復習)事例問題について自分の考えを整理する。	210分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート課題については、添削したうえで返却するとともに、授業内で詳しく説明してフィードバックを行う。